平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	流通経営論 (Distribution Management)			授業コード	E041351
担当教員名	梅本　光一、橋本　堅次郎			科目ナンバリングコード	E20305
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	コース必修 Bソリューションコース 選択 地域マネジメントコース 会計ファイナンスコース スポーツビジネスコース 福祉マネジメントコース こども・福祉コース	単位数	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	考える力をしっかりと養うとともに、専門知識の習得をするつもりで授業に出席してください。目と耳の集中力を高め、情報を整理しながら受講してください。考えると考え抜くは違うことを理解・実践する。				
教科書	特にありません。				
参考文献及び指定図書	「流通の基本」(小林隆一、日本経済新聞社)、「流通の基本が面白いほどわかる本」(為廣吉弘、中経出版)、「流通業界の動向とからくりがよーくわかる本」(林真史、秀和システム)				
関連科目	経営学入門、経営学総論、日本のサービス産業、マーケティング関連				

授業の目的	流通についての基礎知識の習得。業界事例について知る。考える力を鍛える。流通業の基本を理解するとともに、日々変化する流通業の最新の情報を取り上げ流通業への理解を深めます。
授業の概要	最後に当日の授業についてレポートを作成します。授業の最初にレポートからの質問を取り上げながら、授業の内容を深めていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 講義の目的と進め方。流通の基本構造 講義の目的と進め方について理解をする。流通というと様々な解釈があるが流通の基本構造について学ぶとともに、なぜ流通が必要かについて理解する。	配布資料 予習　小売業とは何か
第 2 週 ： 日本の小売業① 高度成長期以降の小売業の変遷について考え、現在の各小売業界の業界勢力図から小売業が時代の変化ともに変容していくことを理解します。	配布資料 予習　日経の小売業ランキングでトップの企業は何か
第 3 週 ： 日本の小売業② 小売業に関する理論を紹介し、実際の事例に当てはめて考えます。また日経新聞の小売業のランキングから今後の小売業の方向性を考察します。	配布資料 予習　ユニクロはなぜGUを展開しているのか
第 4 週 ： 日本の小売業③ 小売業の変遷について「小売りの輪」理論を中心に説明します。ユニクロを事例をして取り上げ、ユニクロの戦略とGUの意味と事業ポートフォリオについて理解を深めます。	配布資料 予習　小売業が提携した例を調べなさい
第 5 週 ： 流通業を考える視点 流通業の変遷をどのような視点で考えるかについて「ライスサイクル」「シナジー(相乗効果)」「コラボレーション」について事例を中心に紹介し、今後の流通業を考える視点を理解します。	配布資料 予習　Eコーマースの事例を取り上げなさい
第 6 週 ： 小売業④ 「eコマース」	配布資料

現代の技術環境、顧客の変化、競争環境の変化を説明するのにふさわしい「eコマース」について事例を取り上げ紹介します。激しい流通業の競争についての理解も深めて行きます。	予習　百貨店の再編について調べなさい

第 7 週 ： 小売業⑤ 産業の栄枯盛衰のひとつの要因として市場の縮小があります。それは小売業ならず銀行業界も同じです。失われた20年は市場縮小との戦いと言って良いでしょう。百貨店の再編を取り上げ市場の縮小と業界について考えます。	配布資料 予習　卸売業とは何か
第 8 週 ： 日本の卸売業① 小売り業について学生諸君はほとんど知らないことと思います。卸売業がなぜ必要。また卸売業の全体像、業界勢力図、ランキングについて紹介します。卸売業の5つの基本機能について理解を深めます。	配布資料 予習　大分県下のCGCグループを調べなさい
第 9 週 ： 日本の卸売業② 卸売り業の具体的な事例としてCGCを取り上げ、卸売り業の5つの基本機能を具体例で学びます。さらに卸売業が業界再編についての役割を果たしていることも事例として取り上げます。	配布資料 予習　卸売業の役割について調べなさい
第10週： 日本の流通業 「垂直統合」 製造から小売りまで垂直統合の試みは現在も行われています。自前の垂直統合ではなくPB（プライベートブランド）による垂直統合への試みを紹介します。	配布資料 予習　物流業とは何か
第11週： 物流業の全体像と課題 生産から小売りまで欠くことのことのできない機能が「物流」です。物流の6機能を学び現在の物流の課題について理解を深めます。また非常な進展を遂げている物流の自動化についても学びます。	配布資料 予習　空運とは何か
第12週： 物流業 「空運」 空運・陸運・海運・倉庫のうち「九運」を取り上げます。業界の勢力図をで全体像への理解を深め、空運の中での今日的話題である「LCC（格安航空会社）」について学びます。	配布資料 予習　倉庫業にとは何か
第13週： 物流業 「倉庫」「陸運」 物流の中でも学生諸君にはなじみのない「倉庫」について取り上げ物流を支える倉庫についての理解を深めます。また「陸運」の業界勢力図について学びます。	配布資料 予習　ロボットによってうすなわれる仕事は何か
第14週： 現在の流通テーマ 現在の流通のみならず世界全体へ大きな影響を及ぼす第4次流通革命「ロボットがもたらす仕事の未来」を取り上げます。今後、社会を大きく変容させる「AI」について理解を深めます。	配布資料 予習　配布資料からキーワードは抜き出しなさい
第15週： まとめ 小売業、物流、卸売業を俯瞰してきましたが、再度、流通業の全体像を理解するために全14回の授業のまとめをします。	配布資料
第16週： 期末試験 授業で配布したプリントのみ持ち込み可	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	流通業（小売り、卸し、物流）について関心を深める。特に目に触れることの少ない卸し、物流についての関心を高める。
【知識・理解】	流通業への基本知識を習得し、理解を深める。また日々変化する流通業への知識を深める。
【技能・表現・コミュニケーション】	毎回のレポートを通して、授業で得た識見を文字で表現することを学ぶ。さらに他の学生のレポート内容を知ることで識見の幅を広める。
【思考・判断・創造】	全15回の授業で流通業への情報を蓄積し、新たに起こってくる流通業の出来事、課題について思考・判断ができるようになること。自分自身の考えを創造することができるレベルを目指す。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点	10点		
【知識・理解】※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	20点	10点		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	10点			
【思考・判断・創造】※「考え抜く力」を含む。	30点	10点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	